

大 豊 町 の 概 要

位 置	東經133度37分	北緯33度56分
面 積	320.54平方杆	東西 32杆
	南北 28杆	部落數 86
人 口	10,258 男 4,875 女 5,383	
世帶數	3,498(12月末日現在住民基本台帳調)	



昭和 55 年 2 月 10 日 発行

全 世 帯 配 布

編 集	館報大豊編集委員会
発 行	大豊町中央公民館
印 刷	高知印刷株式会社

財政事情の公表について

昭和39年大豊町~~規~~条例第28号（大豊町財政事情説明書の作成及び公表に関する条例）第3条第2項の規定による、昭和54年9月30日現在の財政事情は別掲2～3頁のとおりである。

昭和54年12月 1 日

大豊町長 門田盛一郎

昭和53年度 決算の内訳
審査結果の公表

窮屈な財政事情下

黒字財政を堅持

昭和五十三年度大豊町一般会計並びに特別会計の決算審査は、監査委員岡崎治猪、上村孝行の両氏により、去る五十三年八月二十七日から九月七日の内八日間行われ、九月十一日付で、地方自治法第二三条の規定による「審査意見書」を門田町長に送付した。これによると、昭和五十三年度各会計の決算書並びにこれを立証する証書類と照合精査した結果、計数的には正確、非違の経理もない、一般会計にあつて、四千八十九万八千三十一円の剰余金を見たことは幾多の債務負担をかへた困難な状況下、黒字財政を堅持しつづけている、執行部、特に財政担当職員の労苦を多とし、一方限られた予算の範囲内で住民の福祉向上を計るために、冗費を省き、円滑な運営、予算の高度利用について充分検討を加える事を望んでいる。

昭和53年度決算審査意見書

1. 審査した決算書及び帳簿、証書類
 - (1) 昭和53年度大豊町一般会計歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び関係帳簿、証書類
 - (2) 昭和53年度大豊町国民健康保険特別会計歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項明細書、実質収支に関する調書及び関係帳簿、証書類
 - (3) 昭和53年度大豊町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算書、同歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書
2. 審査した期間

昭和53年8月27日～9月7日の内8日間
3. 審査結果について

昭和53年度各会計の決算

持	
書並びに事項別明細書と之を立証する証拠書類と照合精査しその内容を検討した結果、計数的には正確であり、非違の経理も発見出来なかった。	る大口滞納者によるものと判明した。しかしながら昨52年度収入未済額一、一七五、一五六円を本年度において過年度分収入未済額を二六〇、六四五円に減少せしめた努力は高く評価すべきであり敬意を表するものである。
4. 会計別審査意見 (1) 昭和53年度一般会計決算歳入 (イ) 歳入予算及びその執行状況は第1表のとおりである。	尚不納欠損額は掲上されてないが調定の段階で操作されているもの3件、二、七〇〇円あり、いずれも収納見込みが無く止むを得ないものと断定した。
(ロ) 昭和53年度予算現額	(ウ) 学校給食費負担金で6月以降10月間一九、七二五円の収入未済額を生じた事は甚だ遺憾である。
出 イ 予算及びその状況は第二表のとおりである。	去る1月定期監査の際に発見し指摘してあったものであるが、収納に対する努力の跡がうかがわれず残念である。 ハ 本年度決算の不用額は四〇、八九八、〇三一円であるが、事業圧縮したような事実は見られず、経費の節減並に事業費については、工事予算を下廻る入札によるものであった。 ニ 予備費の充当についても、支出科目、支出事由が適当であるかどうか等審査

査を重ねたが、いずれも妥当なものであると認められた。 (3) 昭和53年度国民健康保険特別会計について（第3表） 第3表のとおり年々保険税の増徴にもかかわらず、税務係の努力によって徴収率は向上の一途をたどっていることはまことに喜びにたえない。その労を多とするものである。不納欠額について精査したが、調定段階において処理しているものが3件、三一、九六〇円あったが之は工事関係者の先行不明等によるもので止むを得ないものと認められた。	ンスは次第に進むものと思考せられる。 53年度は不用額六、〇一〇、八三七円では、又歳入歳出差引額にあつては、二二、三九九、一〇〇円の残額となつており、未払等も減少し、財政の均衡を保ち得た事は喜ばしい次第であるが、特別会計を堅持し維持を計るためには尚一層の研〇と努力を希ふものである。
歳出保険給付費、昭和52年度予算現額を一〇〇とし、昭和53年度予算現額においては、一三七、九三と伸張している。これは、国民健康対象者の老令化の現れであり、今後、健康保険税収入の低下と給付費支出額の増嵩と云うアンバラ	(4) 簡易水道特別会計並に代替輸送特別会計 両会計とも53年度においては、ほぼ健全に収支し得たことは関係職員の見識と努力されが、両会計共町民の生活に直結し、向後の拡大強化の望まれる特別会計であるが、簡易水道会計にあつては、公債費53年末一九三、六二七千円の現在高で歳入使用料及手数料の収入済額一九、一五五千円であることを明記すべきである。

(2面上段へつづく)

第一表

() は52年度実績

区 分	総 額 (円)	町 税 額 (円)
予 算 現 額	3,907,966,000	(202,203,000) 229,268,000
調 定 額	2,880,539,252	(212,609,010) 234,468,117
収 入 済 額	2,878,875,987	(211,433,854) 232,824,577
収 入 未 済 額	1,663,265	(1,175,156) 1,643,540
調定額に対する 収 入 対 歩 合	99.942%	(99.447%) 99.299%
予算額に対する 収 入 対 歩 合	99.056%	(104.565%) 101.551%
予算額に対する 収 入 の 増 減 額	△ 29,090,013	(9,230,854) 3;556,577

第二表

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額	執 行 率
議 会 費	53,701,000	53,386,853	314,147	99.414
總 務 費	568,531,000	556,832,193	11,698,807	97.942
民 生 費	360,499,000	353,192,333	7,306,667	97.973
衛 生 費	63,188,000	61,019,647	2,168,353	96.568
農 林 水 産 費	592,259,000	589,098,754	3,160,246	99.466
商 工 費	32,667,000	32,599,170	67,830	99.761
土 木 費	343,007,000	280,846,455	2,194,545	81.877
消 防 費	84,749,000	83,863,498	885,502	98.955
教 育 費	530,620,000	522,464,936	8,155,064	98.463
災 害 復 旧 費	79,240,000	77,378,738	1,861,262	97.651
公 債 費	198,997,000	196,419,392	2,577,608	98.704
諸 支 出 金	1,000	0	1,000	0
予 備 費	(5,000,000) 507,000	(4,493,000) 0	507,000	(89.86) 0
			土木費翌年度繰越額	
			59,966,000	
合 計	2,907,966,000	2,807,101,969	40,898,031	96.351

第三表 (年度別歳入)

年 度 別	国民健康保険税調定額	収 入 済 額	収 入 未 済 額
昭和50年度	65,595,159円	59,356,389円	6,238,770円
昭和51年度	66,595,280	61,213,117	5,382,163
昭和52年度	79,229,003	74,975,601	4,253,402
昭和53年度	96,122,232	92,805,390	3,316,842

第四表

保 險 給 付 費	年 度 別	予 算 現 額	支 出 済 額	不 用 額
	昭和51年度	303,581,000円	297,837,351円	5,743,649円
	昭和52年度	337,830,000	337,697,169	132,833
	昭和53年度	465,967,000	463,190,526	2,776,474

(1) 土地及び建物

(単位 m^2)

(2) 山 林

(3)	有価証券	電々公社債	1,340千円
(4)	出資による権利	高知県信用基金協会	1,080千円
	高知県県内用牛価格安定基金協金		460千円
	四国山岳開発公社		5,000千円
	高知県県畜産衛生指導協会		40千円
	高知空港周辺整備基金		2,200千円

2. 物 晶

3. 一時借入金	一 般 会 計	0	簡 水 会 計	0
	国 保 会 計	0	代 替 輸 送 会 計	0

4. 地方債の状況

(単位 千円)

5. 基金の状況

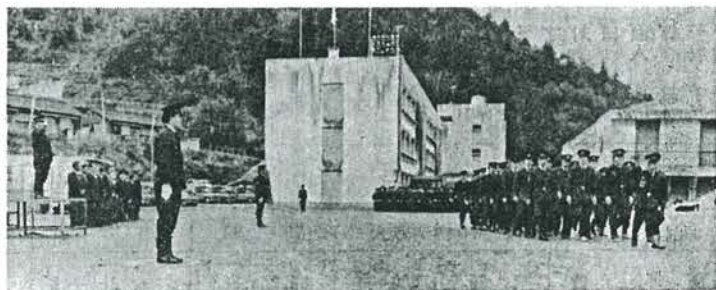
(單位 千円)

(5) 総括

昭和53年度大豊町一般、特別会計の合計額は

歳入調定額	3,581,952,700円
収入済額	3,576,972,593円
歳出予算現額	3,600,438,000円
支出済額	3,492,892,427円
54年度繰越額	59,966,000円
不用額	47,579,573円

大豊町発展の原動力
町民生活の安定に大きな役割



分 列 行 進 答 礼 は 町 長

大豊町消防団では一月二十日、大豊中学校グラウンドにおいて恒例の出初式を行った。寒冷の午前九時

委員代表、嶺北消防署長らの祝辞と激励を受け、国旗降納で厳肅な出初式を終了した。午後はそれぞれの地

北村政夫・北村豪・三谷富
吉・三谷賢太郎・三谷俊文
・近藤英雄・岩崎道夫・
▲嶺北消防団連合会長表彰
原正宏・▲嶺北消防団連合会

七分団三〇〇 区分団において、消火器の
名が集合、そ
れぞれの分団
毎に十時まで
一般訓練が実
施された。

十時小笠原
助役の開会の
辞で出初式が
開会、国旗掲
揚、人員服装
及び機械器具
点検のあと、
りりしい制服
姿で町民の信
頼を担って堂
堂の分団行進
を行い、列員
の士気はいや
が上にも高ま
りをみせた。

続いて、表彰
伝達、町長・
団長訓示、議
員答弁、消防
団員宣誓、消
防団員宣誓、

消防協会会長表彰（功績章）
市▽高知県消防協会会長表彰
（動続章）小笠原久穂・西
谷侑紀・真鍋重義・宮内武
美・松岡英芳・北村光幸・
吉川唯臣・三谷憲秀・西村
浩一・下村忠義・▽高知県
消防協会会長表彰（功績章）
松田尊昭・山中正彦・森下
幸夫・佐々木正彰・森下登
志夫・岡本修二・吉川寛士
・岡本淳・北村政市・高橋
邦寿・竹内良二・豊永郁夫
・三谷幸栄・小笠原俊一・

（功勞章）竹村道盛▽嶺北
消防団連合会長表彰（永年
動続章）小笠原昭八・桑名
定一▽嶺北消防団連合会長
表彰（功績章）渡辺丈仁・
前田憲大・永森政年・三谷
宏・笹岡幸一・長田幹男・
崎田範重・徳弘洋一・秋山
豊晴・小笠原幸吉・藤川陽
精・北村照・前田速水・西
岡保秀・▽大豊町長表彰
（功勞章）西村明政・川上
哲郎・永野直幸・秋山政男
・徳弘晴男▽大豊町長表彰
（精績章）笹岡博愛▽大豊
町長表彰（精勤章）三谷博
信・三谷善太・大家康男・
大家成利・西村哲夫・上村
政信・豊永公・三谷雄彦・
畑山敏光・下村竜吉▽大豊
町長表彰（動続章）上村典
義・北澤博章・小笠原克安
・桑名正司・久保利泰・豊
永保美・徳弘鉄夫・松岡幸

長（感謝状）杉本周二郎・
宮内武美・和田進・吉村正
氣・西谷利夫・中西勝永・
猪野義晴・小笠原正宏・阿
佐穂利・都築久寿永・中西
陸男▽大豊町長（感謝状）
藤村正直・西谷利夫・小笠
原久穂・杉本周二郎・猪野
義晴・小笠原時盛・宮内武
美・池添繁政・古地裕和・
上村盛正（相続人・上村悦
子）小笠原良延・西村利雄
・山中正彦・貞光常美▽大
豊消防団長（感謝状）小

松憲一・八木良二▽大豊
町長（感謝状）大久保輝
防隊



感謝状を受ける大久保婦人消防隊

〔3〕大 豊 報 館

公 営 事 業 の 経 理 状 況 (昭和54年9月30日現在)

1. 昭和54年度国民健康保険特別会計予算執行状況

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	調 定 額 _A	収 入 額 _B	残 額 (A-B)	予算に対する 収入率 _%
1. 国民健康保険税	106,937,000	119,120,292	53,246,994	65,873,298	49.79
2. 使用料及び手数料	71,000	13,240	13,240	0	18.65
3. 国庫支出金	407,472,000	126,756,000	126,756,000	0	31.11
4. 県支出金	1,000	0	0	0	0
5. 繰入金	17,000,000	0	0	0	0
6. 繰越金	651,000	0	0	0	0
7. 諸収入	22,199,000	3,013,09	3,013,609	0	13.58
歳入合計	554,331,000	248,903,141	183,029,843	65,873,298	33.02

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率 _%
1. 総務費	17,425,000	8,825,519	8,599,481	50.65
2. 保険給付費	502,015,000	178,405,411	323,609,589	35.54
3. 保健施設費	228,000	99,750	128,250	43.75
4. 基金積立金	1,000	0	1,000	0
5. 公債費	1,000	0	1,000	0
6. 諸支出金	19,761,000	19,292,750	468,250	97.63
7. 予備費	14,900,000	0	14,900,000	0
歳出合計	554,331,000	206,623,430	347,707,570	37.27

2. 昭和54年度簡易水道事業特別会計予算執行状況

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	調 定 額 _A	収 入 額 _B	残 額 (A-B)	予算に対する 収入率 _%
1. 使用料及手数料	23,444,000	10,578,530	8,357,520	2,221,010	35.65
2. 繰入金	5,572,000	0	0	0	0
3. 繰越金	10,000	0	0	0	0
4. 諸収入	111,000	506,000	506,000	0	45.586
5. 国庫支出金	19,130,000	0	0	0	0
6. 県支出金	2,391,000	0	0	0	0
7. 寄附金	2,391,000	0	0	0	0
8. 町債	23,900,000	0	0	0	0
歳入合計	76,940,000	11,084,530	8,863,520	2,221,010	11.52

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率 _%
1. 総務費	8,949,000	5,268,141	3,680,859	58.87
2. 水道管理費	58,027,000	1,823,998	56,203,002	3.14
3. 公債費	9,914,000	4,202,652	5,711,348	42.39
4. 予備費	50,000	0	50,000	0
歳出合計	76,940,000	11,294,791	65,645,209	14.68

3. 昭和54年度代替輸送事業特別会計予算執行状況

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	調 定 額 _A	収 入 額 _B	残 額 (A-B)	予算に対する 収入率 _%
1. 県支出金	760,000	0	0	0	0
2. 繰入金	2,124,000	0	0	0	0
3. 諸収入	6,056,000	2,549,930	2,549,930	0	42.11
4. 繰越金	1,000	0	0	0	0
歳入合計	8,941,000	2,549,930	2,549,930	0	28.52

歳出の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率 _%
1. 民生費	8,313,000	3,197,437	5,115,563	38.46
2. 公債費	578,000	255,377	322,623	44.18
3. 予備費	50,000	0	50,000	0
歳出合計	8,941,000	3,452,814	5,488,186	38.62

昭和54年度 予算の執行状況

(昭和54年9月30日現在)

一般会計

歳入の部

(単位 円)

科 目	予 算 額	調 定 額 _A	収 入 額 _B	残 額 (A-B)	予算に対する 収入率 _%
1. 町税	226,074,000	207,880,306	146,604,982	61,275,324	64.85
1 町民税	75,398,000	74,658,327	42,188,440	32,469,887	55.95
2 固定資産税	97,764,000	107,505,323	79,815,044	27,690,279	81.64
3 軽自動車税	5,112,000	6,147,020	5,807,560	339,460	113.61
4 たばこ消費税	28,400,000	10,352,080	10,352,080	0	36.45
5 電気税	6,600,000	3,029,546	2,348,158	681,388	35.58
6 木材引取税	11,000,000	3,970,800	3,880,800	90,000	35.28
7 特別土地保有税	1,800,000	2,217,210	2,212,900	4,310	122.94
2. 地方譲与税	21,000,000	7,851,000	7,851,000	0	37.39
3. 自動車取得税交付金	19,000,000	7,682,000	7,682,000	0	40.43
4. 地方交付税	1,071,613,000	724,835,000	724,835,000	0	67.64
5. 交通安全対策特別交付金	1,500,000	0	0	0	0
6. 分担金及び負担金	47,568,000	38,229,760	19,512,397	18,717,363	41.02
7. 使用料及び手数料	4,090,000	2,260,800	2,260,800	0	5.28
8. 国庫支出金	285,390,000	67,726,000	67,726,000	0	23.73
9. 県支出金	327,690,000	45,491,993	45,491,993	0	13.28
10. 財産収入	1,686,000	3,823,864	3,823,864	0	226.8
11. 寄附金	67,467,000	4,091,609	4,091,609	0	6.06
12. 繰入金	12,553,000	0	0	0	0
13. 繰越金	49,443,000	0	0	0	0
14. 諸収入	10,843,000	33,295,983	33,203,983	92,000	306.23
15. 町債	388,300,000	2,800,000	2,800,000	0	0.72
歳入合計	2,534,217,000	1,145,968,315	1,065,883,698	80,084,687	42.06

歳出の部

科 目	予 算 額	支 出 額	残 額	支出率 _%
1. 議会費	56,230,000	26,133,529	30,096,471	46.48
2. 総務費	395,319,000	194,697,282	180,621,718	49.25
3. 民生費	351,672,000	163,760,647	187,911,353	46.57
4. 衛生費	66,339,000	26,644,457	39,694,543	40.16
5. 農林水産業費	549,148,000	82,382,100	466,765,900	15.00
6. 商工費	29,706,000	29,402,520	303,480	98.98
7. 土木費	272,748,000	66,115,531	206,632,469	24.24
8. 消防費	82,884,000	39,836,998	43,047,002	48.06
9. 教育費	386,901,000	238,321,241	148,579,759	61.60
10. 災害復旧費	107,702,000	18,210,920	89,491,080	16.91
11. 公債費	950,910,000	73,324,677	177,585,323	29.22
12. 諸支出金	1,000	0	1,000	0
13. 予備費	4,657,000	0	4,657,000	0
歳出合計	2,534,217,000	958,829,902	1,575,387,098	37.84

住民負担の状況

(9月末大豊町人口 10,369人)

科 目	予 算 額	予算総額に対する 構成比	住民一人当りの 負担額
町民税	75,398,000	2.98	7,276
固定資産税	97,764,000	3.86	9,434
軽自動車税	5,112,000	0.20	493
分担金及び負担金	47,568,000	1.88	4,590
寄附金	67,467,000	2.66	6,183
計	293,309,000	11.57	28,303

農工団地に建設のつち音

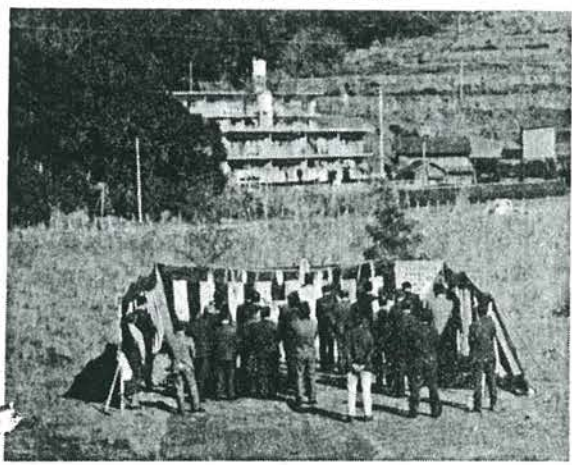
五十二年川口南に農工団地が造成され以来企業誘致のため、町企画室並びに町議会企業導入特別委員会の努力が続けられていたが、四十八年のオイルショックがもとで、初め進出が予定されていた大阪市内のミシン、機械金属メーカーが計画を断念するなど、同団地に大きな期待をかけていた町民に少なからず不安をあたえておりました。今度高知市大津・大津工業団地内にあるカタオカ工業（資本金一千万円、片岡俊仁代表取締役）と話がまとまり、川口南工業団地進出第一号として、ベッド製造の会社が、団地の最上段で工場建設の起工式を去る一月十九日実施した。この日現地の起工式には門田盛一郎町長、片岡俊仁社長、議



カタオカ工業の工場建設起工式での町長クワ入れ

地鎮祭挙行される

川口南住宅団地



地での起工式には門田盛一郎町長、片岡俊仁社長、議事録、川口南工業団地進出第一号として、ベッド製造の会社が、団地の最上段で工場建設の起工式を去る一月十九日実施した。この日現地の起工式には門田盛一郎町長、片岡俊仁社長、議

健康の「定年、成人病

体力づくりで健康の「定年延長」

日常生活の注意について (その1)



心の安静

まず腹を立てないこと。心の動揺は血圧に大きく関係があります。生活にリズムを…(毎日規則正しい生活を)ストレスは早くなくするように…



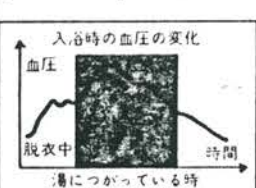
通じを整える

便秘をすると排便のとき、腹圧をかけているために血圧があがります。1日1回排便があるように、習慣づけることが大切です。野菜を多くとることや、朝コップ一杯の水を飲むこと、また適度の運動も1つの方法です。



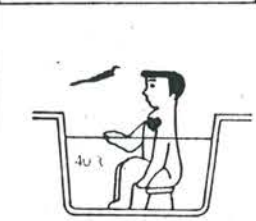
睡眠を十分に

睡眠と休息を十分に、とることも大切です。



入浴時の血圧変化

脱衣する時、寒さの刺激で血圧は徐々に上がってきます。一番風呂は避けて脱衣場、洗い場が暖かくなってから入浴を。血圧が最高に上がるのは浴槽に身を沈めた瞬間です。



身体に負担のかからぬ入浴法

熱い湯に入ると血圧の上がり方も急激になります。血圧の高い人は、ぬるめの湯に入ります。心臓の悪い人は、心臓の負担を少なくするために左図のように、浴槽に風呂イスを入れてすわるなどの工夫をしましょう。

2月1日から

成人病予防週間

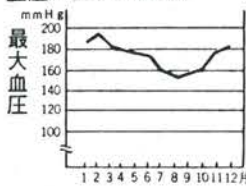
日常生活上の注意について (その2)



環境も大切

環境が高血圧の必須条件、寒冷、過労、食生活が大きく左右します。

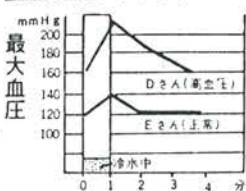
寒い時期には血圧が上がります。



気温の変化と血圧

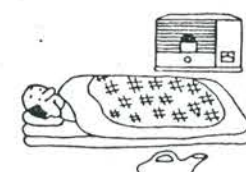
このグラフは血圧の高い人の1年間の血圧の動きです。冬は血圧が上がり、夏は下がります。

冷たい水に手をつけると血圧が上がります。



冷たい水も大敵

これは冷たい水の中に1分間手をつけてそれ以後の血圧の動きをみたグラフです。高血圧の人に激しい血圧の変化がみられます。



室内の保温

部屋全体を暖かくしましょう。冬の夜中のトイレは、し瓶などを使った方が良いでしょう。電気毛布やアンカなどの利用も。

世界農林業

センサスにご協力を

統計係より

一九八〇年世界農林業センサスは、昭和五十五年二月一日を期して全国一斉に行われますが、その準備調査はすでに着々と進められています。今回のセンサスは、国際連合食糧農業機関が提唱する世界センサスに我が国も参加して、農林業の姿を世界的な視野からとらえるという重要な任務が課せられています。五十五年十月一日現在で国勢調査(対照・全戸)

大豊町農業共済

組合よりお知らせ

農業共済事業は国と農家が掛金を出し合い被害を受ける引受けが先決となり、農家経済の安定を目的としております。(1) 被害共済について「被害があっても共済金がもらえない」との声をよく聞かれます。その原因は農家の実損立量と組合の引受量に差があることがあげられます。共済組合は法の定めにより引受二万粒を一箱として取扱う事になっておりますが、最近の大豊町内の損立の現状は「一箱の注文に対して一・五箱以上」の割合で渡しているとの事です。従って会社二箱の注文をした者は実損立量が三箱以上となります。法の主旨に添い実際に被害を受けた場合、役に立つ共

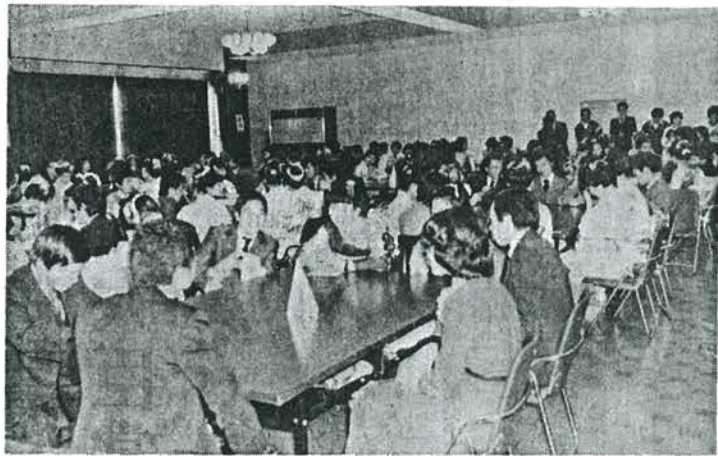
おわびと訂正

館報一九四号の3ページ第七回大豊町文化祭の記事の中で食生活改善推進委員会委員長「上池政子」となっていますが会長は「上池広美」さんですおわびして訂正いたします。

社会人として新しいスタート

成人おめでとう！

大人の自覚と責任の重さを確認



グループ別討議なごやかに



委員長さんも町長さんも仲良く会食



前途を祝して万歳三唱

新たに成人となり、大人になったことを自覚し、責任を持って生き抜こうとする青年を祝い励ます成人式を、去る一月十五日、大豊町農工センターで行った。

天候にも恵まれ、早朝から和洋服姿の若者、来ひんの方々約百四十人が出席した。「簡素な服装で」の呼びかけにもかかわらず、今年もまた例年の派手やかさ。それでは、普段着の勇気ある若者が八名いました。

☆運営は青年団
運営は四十九年以来青年団によって行っているのだから、式典係が司会進行から伴奏まで厳粛に行なわれた。成人式は、教育長式辞、町長あいさつ、来ひんの方々の言葉を聞き、成人となった自覚と責任を感じていくようであった。

☆会食は婦人会の手で
午前十一時三十分からは会食の時間。今年は会食は婦人会のお母さんの奉仕でサンドウィッチを作った。婦人会の方たちは、我が息子、娘においしく食べてもらおうと、午前七時から集まり、腕自慢料理づくり。お母さんの味のサンドウィッチが出来上がった。

☆ふふふとどう思うか
午後からは「ふふふとどう思うか」というテーマで話し合った。活発な意見が出し、町執行部、議会へマイクを向ける場面もあった。若者の意見を要約すると次のとおりです。

・良い職場が少ない
・人間関係が悪い
・うわさが広がりやすい

・自然が美しい
・娯楽の場が欲しい
・若者が少ない

☆大人形劇「くるみ座」の協力でベアサートの話し合いが終るとレクリエーションが行なわれた。一夜づけのベアサートが上演された。題名は「てんとう虫のサンバ」「くじらのスーさん」「一休さん」など、即席では、素晴らしいものであった。拍手が絶えなかった。

☆カメラクラブの協力で二十歳の抱負は今年に決めた企画。会場で原稿用紙に自己紹介と二十歳の抱負を書いてもらった。自分の顔写真とともにアルバムに載せるとあって慎重であった。写真撮影は、カメラクラブのメンバーと青年団で腕の自信のある者で激写。照明の苦痛などもあったが、まずまずの仕上がりであった。午後二時全体で記念写真を撮り終った。

☆この日は新成人にとって記念となり、感慨深い一日であったに違いない。

☆大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

☆大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

☆大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

成人を祝って

二十歳のつどい

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。

大豊町連合青年団(団長は親しくうちとけ、午前九時開始)では、町教育委員と共催で、新成人の交を深めるため、二十歳のつどいをを行った。



重森教育長の式辞



小笠原婦人会長の祝辞



記念品贈呈



小笠原一夫君の開式の辞



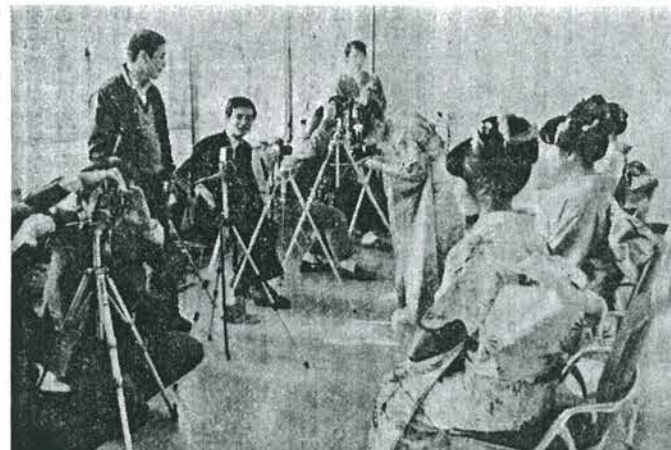
ベアサートの上演



成人代表三谷美喜子さんの謝辞



進行を見守る青年団員



写真撮影スタジオ、手ぶれのないように



グループの発表



会食を作ってくれた婦人の方々「ほんとにおいしかった」

